

## 授業科目

## 保健統計学

担当教員名 遠藤 和男	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

## 授業の概要

保健・医療分野において用いられている独特の用語や定義を理解し、卒業研究や卒後現場でも応用できる統計学の方法を学習する。医療の現場でも重視されている、E B M (Evidence-based Medicine)の基礎についての修得を目指す。

## 授業の目的

証拠に基づいた医療である E B M (Evidence-based Medicine)を用いたチーム医療に参加するために、保健・医療分野で用いられる統計学的手法を理解し、正しい方法を適用できる。

## 学習目標

1. 証拠に基づいた医療である E B Mの重要性を説明できる。
2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。
3. コンピュータ学習 (C A D) に積極的に参加する。
4. 正しい統計学的な検定方法を選択できる。
5. 適用した検定結果について正しく判断できる。
6. 常に証拠に基づいて議論する習慣を身につける。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	データの代表値、散布度について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
2	度数分布表及びヒストグラムの描き方を演習する。	演習(助手またはA Tが応援)	遠藤 和男 他
3	統計学的な検定の手順及び基本的な統計分布の意味を学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
4	2群の平均値の比較について様々な方法を演習する。	演習(助手またはA Tが応援)	遠藤 和男 他
5	保健衛生の指標及び率の調整方法について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
6	年齢調整法のうち、標準化死亡比を用いて演習する。	演習(助手またはA Tが応援)	遠藤 和男 他
7	疫学研究のさまざまな型と実際に用いられる指標について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
8	後向き調査の手法を用いて、食中毒の原因説明について演習する。	演習(助手またはA Tが応援)	遠藤 和男 他
9	記述疫学の方法とアンケート調査の実際について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
10	実際に調査、集計された結果を用いて分析・評価を行う。	演習(助手またはA Tが応援)	遠藤 和男 他
11	地域相関研究の考え方、相関係数の意義について学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
12	相関係数を求め、地域相関の資料を用いて演習する。	演習(助手またはA Tが応援)	遠藤 和男 他
13	スクリーニングの基礎である敏感度及び特異度の意味を学ぶ。	講義と小テスト	遠藤 和男
14	スクリーニングの各指標の変化について演習する。	演習(助手またはA Tが応援)	遠藤 和男 他
15	まとめと国家試験問題を用いた演習	講義と演習	遠藤 和男

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	保健統計テキスト改訂版	遠藤和男	考古堂	2010年	2,800円+税	
参考書						
その他の資料	必要に応じて統計数値表などの補足資料を配布する。 講義の際にはP P tの資料を配布するので、ノート代わりとして活用すること。					

## 評価方法

- 1) 奇数回目の最後に小テストを実施し、翌週解説する：約10%
- 2) 偶数回目にはレポートを提出してもらい、翌週解説する：約10%
- 3) 筆記試験では電卓の持ち込み可(携帯の計算機能使用不可)：約80%  
・3)の出来具合によって、1)及び2)の割合を加減する。

#### 履修上の留意点

- ※「脱ゆとり世代」であり、入試で数学を選択した者には必要ないが、選択しなかった者や数学が苦手な者は、「学習支援センター」が事前に開催する「統計学基礎セミナー」を必ず受講して下さい。
- ・なお、これまでは3限講義、4限演習として、4限はPT学科教員の応援を得て実施してきた。

#### オフィスアワー・連絡先

これまでは前期後半月曜日4限

endo@nuhw.ac.jp

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。